

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	現代文B	年次	2年次	区分	必修	担当者名	
	国語	講座名	現代文B	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	高等学校現代文B[改訂版](三省堂)
目標 (学習を通して身につける学力)	国語を的確に理解し、適切に表現し伝え合う能力を育成する。 論理的な文章や文学的文章、韻文などを通して、ものの見方、感じ方、考え方を深化させ、総合的な国語力を向上させ、人生を豊かにする態度を育てる。 論理的思考力向上のために必要な知識・概念を身につけさせると共に、豊かな感性を養い、言語文化に対する関心を深め国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。							副教材	最新国語便覧(浜島書店) 核心漢字2500(尚文出版) ちくま評論入門(筑摩書房) 読解を深める現代文単語(桐原書店) ちくま評論選(筑摩書房) 現代文アチーブ2(桐原書店)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	評論「文系と理系の壁はあるか」(最相葉月) 小説「山月記」(中島敦)	評論「ミロのヴィーナス」(清岡卓行) 評論「ホンモノのおカネの作り方」(岩井克人)	小説「ころ」(夏目漱石) 評論「空白の意味」(原研哉)	評論「病と科学」(柳澤桂子) 評論「ロゴスと言葉」(丸山圭三郎)	評論「『である』ことと『する』こと」(丸山真男) 評論「南の貧困／北の貧困」(見田宗介) 詩歌「永訣の朝」(宮澤賢治)
指導項目	論の展開に留意した評論の基本的な読解法の確認 文章のクリティカルな読み方 場面の展開や登場人物の心情に留意した小説の基本的な読解法の確認 要約の基本の確認	論の展開に留意した評論の読解 対比と逆説の理解 要約	的確な小説の読解と論理的な解釈 論の展開に留意した評論の読解 要約	論の展開に留意した評論の読解 基本的な言語論の理解 要約	比喩表現および時代背景に留意した評論の読解 現代文明への理解を伴う正確な評論の読解 情景描写に留意した詩歌の読解と解釈 要約
補講講習	課題状況不良者講習	課題状況不良者講習	課題状況不良者講習	課題状況不良者講習	課題状況不良者講習

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲
4月8日	7月7日	7/17～8/26	8月27日	11月10日	12/27～1/7	1月11日	2021/3/9.10
春休み宿題範囲	評論 小説	難関大志望者 基礎学習 希望者対象講習	夏期休業期間中 宿題範囲	評論 小説 随想	難関大志望者 基礎学習 希望者対象講習	冬期休業期間中 宿題範囲	評論 小説 随想

評価の観点 評価方法	①日々の授業、および予習・復習・課題等に対して、積極的に取り組んでいるか。 ②言語文化に対する関心を深め、漢字や語句の学習をとおして語彙を豊かにすることができたか。 ③評論・小説・随想・韻文を表現に即して的確に理解し、それをもとに要約をまとめたり、自らの考えを相手にわかるように伝え話し合うことができたか。 ④評論・小説・随想・韻文をとおして自らの思考力や想像力を伸ばし、感性を磨くことができたか。 以上の観点から評価する。 定期考査・課題テスト・小テスト・提出物等により総合的に評価する。
---------------	--

日常の 学習方法	①「学習の手引き」「漢字」を予習し、疑問点の拾い出し等を行う。 ②授業では予習でわからなかった部分を中心に、表現形態に応じた読解の方法を学びつつ、疑問点を解決する。 ③授業で学んだ事項の整理をして定着を図る。 ④小テスト等で漢字や語句の知識を継続的に増やしていく。 ⑤長期休業中の教科書指定教材や、副教材「ちくま評論入門」「ちくま評論選」を読み、読書量と語彙量を増やす。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	必修科目であり、3年次生と併せて4単位を履修する。すべての科目の基礎となり、現代を生きる上で必要となる力を身につける科目である。 授業内容に関しては、生徒の実態に応じて変更することがある。
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	古典B	年次	2年次	区分	必修	担当者名	
	国語	講座名	古典B	単位数	3単位	形態	習熟度別	教科書	精選古典B 古文編・漢文編(東京書籍)
目標 (学習を通して身につける学力)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に親しむことにより、先人の考えに触れ、そこから多くを学びとる。 ・多くの古典の文章を読むことにより、語彙力を身につけ、読解力を養う。 ・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。 							副教材	最新国語便覧(浜島書店) 三訂版 古文単語330(いづな書店) 体系古典文法 八訂版(数研出版) 体系古典文法学習ノート(数研出版) 必携新明説漢文(尚文出版) LT古文(LT1・2)・LT漢文(LT必修・標準)(浜島書店)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	<古文> 『伊勢物語』『初冠』『渚の院』 <漢文> 『小話』『先従隗始』『不死之薬』 『古詩』『桃夭』『飲酒』	<古文> 『枕草子』『中納言殿参り給ひて』 『雪のいと高う降りたるを』 『徒然草』『花は盛りに』 <漢文> 『小説』『小時了了』『夜行逢鬼』	<古文> 『大鏡』『花山天皇の出家』『道長、伊周の競射』 <漢文> 『史記一項羽』『鴻門之会』『四面楚歌』	<古文> 『蜻蛉日記』『なげきつつ』 『更級日記』『物語』 <漢文> 『史記』『項王自刎』	<古文> 『源氏物語』『光源氏の誕生』『若紫』 <漢文> 『儒家と道家』『性之善也、猶水之就下』『人之性悪』『曳尾於塗中』 『漁父辞』
指導項目	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の復習(用言、助動詞、敬語 および 基本的な句法、語法) ・漢詩の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の完成 ・助詞の復習 ・和歌修辭の復習 ・やや発展的な句法、語法 	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞、敬語の完成 ・助詞のまとめ ・やや発展的な句法、語法 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語、助詞の完成 ・発展的な句法、語法 ・文学史 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典文法の総まとめ ・和歌修辭のまとめ ・句法、語法の総まとめ ・文学史のまとめ
補講講習	課題状況不良者講習	課題状況不良者講習	課題状況不良者講習	課題状況不良者講習	課題状況不良者講習

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲
4月8日	7月7日	7/17~8/26	8月27日	11月10日	12/27~1/7	1月11日	2021/3/9.10
春休み宿題範囲	古文 漢文	難関大志望者 基礎学習 希望者対象講習	夏期休業期間中 宿題範囲	古文 漢文	難関大志望者 基礎学習 希望者対象講習	冬期休業期間中 宿題範囲	古文 漢文

評価の観点 評価方法	①日々の授業、および予習・復習・課題等に対して、積極的に取り組んでいるか。 ②言語文化に対する関心を深め、古典の読解に必要な基礎的な語彙や文法の知識を身につけることができたか。 ③古典作品を的確に理解し、それをもとに自らの考えを相手にわかるように伝え、話し合うことができたか。 ④古典をとおして自らの思考力や想像力を伸ばし、感性を磨くことができたか。 以上の観点から評価する。 定期考査・課題テスト・小テスト・提出物等により総合的に評価する。
---------------	--

日常の 学習方法	①予習として、語彙の調べ学習、現代語訳等を行う。 ②授業では予習でわからなかった部分を中心に、新たな知識を得るとともに、知識の正しい活用の仕方を学ぶ。 ③復習として授業で学んだ事項の整理をして定着を図る。 ④小テスト等で古文単語の知識を継続的に増やしていく。 ⑤問題集等の副教材で発展的な学習を行う。
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	必修科目であり、1年次生で履修した「国語総合」を発展させた科目である。1年次生で学んだ基礎的な事項の上にさらに発展的な学習を行い、古典の世界を味わえるようにする。
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	世界史B	年次	2年次	区分	必履修	担当者名	
	地理歴史	講座名	世界史B	単位数	3単位	形態	クラス単位	教科書	『世界史B 新訂版』実教出版
目標 (学習を通して身につける学力)	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命から現代の世界史を学ぶことで、歴史的思考力や現代社会に対する多面的多角的な見方を身につける。 現代社会の形成過程を理解することで、現代も諸問題を考察する能力を身につける。 様々な民族の歴史や文化を学ぶことにより、自国の文化を尊重するとともに異文化を尊重する態度を養う。 史料やグラフ・統計の読解・活用する能力を養い、適切に自分の考えを表現する。 							副教材	『アカデミア世界史 2020年度』浜島書店

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> イギリスの産業革命 南北アメリカの革命 フランス革命とナポレオン帝政 ウィーン体制と1848年革命 19世紀後半のヨーロッパとアメリカ 19世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの帝国主義 アメリカの帝国主義 西アジアの改革運動 アフリカの分割と抵抗 インドの植民地化と民族運動 東南アジアの植民地化と民族運動 	<ul style="list-style-type: none"> 中華帝国の崩壊と中華民国の成立 19～20世紀初頭の朝鮮半島と日本列島 第一次世界大戦 ヴェルサイユ体制と国際協調 	<ul style="list-style-type: none"> アジアのナショナリズムの台頭 世界恐慌とファシズム 満州事変と日中戦争 第二次世界大戦 	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦時代の国際関係 戦後の各地域 冷戦から多極的国际社会へ グローバル化と地球環境の危機 20世紀の文化
指導項目	<ul style="list-style-type: none"> イギリスの政治、社会、経済の特質 環大西洋革命の理解 史資料の読解 19世紀の欧米諸国の相互の影響・関係を考察する 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米列強の政治、社会、経済の特質 各地の民族運動や改革運動を理解する 地域の比較 史資料の読解 	<ul style="list-style-type: none"> 東アジア諸国・諸地域の政治、社会、経済の特質 第一次世界大戦後の世界の地理的な理解 史資料の読解 国際協調の西夏と限界について考える 	<ul style="list-style-type: none"> 戦間期の政治、社会、経済の特質 第二次世界大戦の政治・経済的理解 史資料の読解 戦間期と第二次世界大戦の諸問題について考察する 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治、社会、経済の特質 現代社会の諸問題を考える 史資料の読解 グローバル化
補講 講習					

特別審査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別審査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別審査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
	産業革命 ～19世紀欧米文化	帝国主義 東南アジアまで	講習 ・文化史 ・復習と演習		19世紀の中国史～ ヴェルサイユ体制	第一次世界大戦後の アジア～ 第二次世界大戦	講習 ・文化史 ・復習と演習		現代の世界	

評価の観点 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 基礎から応用までの歴史的知識を身につけている。 史料やグラフ・統計を読解し、そこから情報を読み取り、適切に表現できている。 各時代、各地域の特徴や関連を理解するなど歴史の大きな流れを把握している。 歴史的・現代的な諸課題について考察し、意欲的に追求している。 <p>以上の点を、定期審査を主な評価材料としながら、出席状況・課題提出状況・授業態度などを加味して総合的に評価を行う。</p>
---------------	--

日常の 学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業の予習として当該箇所の教科書をしっかりと読み込み、用語集を持っていれば用語を調べられる。 復習として『総合マスター世界史B』の演習問題を行う。理解が曖昧なところは、必ず教科書と資料集で確認する。 用語だけを覚えずに流れをしっかりと理解する。 宿題や課題として出す単元ごとの教科書準拠の「1問1答」を解く。 現代史の理解のため、新聞やニュース等に目を通す。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	特になし
----------------------------	------

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	日本史B	年次	2年次	区分	必修	担当者名	
		地理歴史	講座名	日本史B	単位数	3単位	形態	クラス単位	教科書	『詳説日本史B 改訂版』山川出版社
目標 (学習を通して身につける学力)	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。								副教材	『最新日本史図表 四訂版』(第一学習社)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	第9章 近代国家の成立 ・開国と幕末の動乱 開国、公武合体と尊攘運動、討幕運動の展開、幕府の滅亡 ・明治維新と富国強兵 戊辰戦争と新政府の発足、廃藩置県、四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化、明治初期の対外関係、新政府への反抗 ・立憲国家の成立と日清戦争 自由民権運動、松方財政、民権運動の再編、憲法の制定、諸法典の整備、初期議会、条約改正、朝鮮問題、日清戦争と三国干渉	・日露戦争と国際関係 立憲政友会の成立、中国分割と日英同盟、日露戦争、日露戦争後の国際関係、桂園時代 ・近代産業の発展 産業革命、紡績・製糸・鉄道、重工業の形成、農業と農民、社会運動の発生 第10章 二つの世界大戦とアジア ・第一次世界大戦と日本 大正政変、第一次世界大戦、日本の中国進出、大戦景気、政党内閣の成立 ・ワシントン体制 バリ講和会議とその影響、ワシントン会議と協調外交、社会運動の勃興、普選運動と護憲三派内閣の成立	・恐慌の時代 戦後恐慌から金融恐慌へ、社会主義運動の高まりと積極外交への転換、金解禁と世界恐慌、協調外交の挫折・軍部の台頭、満州事変、政党内閣の崩壊と国際連盟からの脱退、恐慌からの脱出、転向の時代、二・二六事件 ・第二次世界大戦 三国防共協定、日中戦争、戦時統制と生活、第二次世界大戦の勃発、新体制と三国同盟、太平洋戦争の始まり、戦局の展開、国民生活の崩壊、敗戦	第11章 占領下の日本 ・占領と改革 戦後世界秩序の形成、初期の占領政策、民主化政策、政党政治の復活、日本国憲法の制定、生活の混乱と大衆運動の高揚 ・冷戦の開始と講和 冷戦体制の形成と東アジア、占領政策の転換、朝鮮戦争と日本、講和と安保条約 第12章 高度成長の時代 ・55年体制 冷戦構造の世界、独立回復後の国内再編、55年体制の成立、安保条約の改定、保守政権の安定	・経済復興から高度成長へ 朝鮮特需と経済復興、高度経済成長、大衆消費社会の誕生、高度成長のひずみ 第13章 激動する世界と日本 ・経済大国への道 ドル危機と石油危機、高度経済成長の終焉、経済大国の実現、バブル経済と市民生活 ・冷戦の終結と日本社会の変容 冷戦から地域紛争へ、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済
指導項目	・政治、社会、経済の特質 ・地理的な理解 ・史資料の読解 ・他地域との交流	・政治、社会、経済の特質 ・地理的な理解 ・史資料の読解 ・他地域との交流	・政治、社会、経済の特質 ・地理的な理解 ・史資料の読解 ・他地域との交流	・政治、社会、経済の特質 ・地理的な理解 ・史資料の読解 ・他地域との交流	・政治、社会、経済の特質 ・地理的な理解 ・史資料の読解 ・他地域との交流
補講講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な歴史知識が身につけている。 歴史の大きな流れをつかめている。 近現代での各地域間の比較、現代的諸課題との考察など歴史的思考力や多面的多角的な考察力が身につけている。 史資料を読解し、それらを活用して適切に歴史的事象を表現できる。 人権、民主主義、宗教的寛容などの形成過程や問題点を理解しながら、自文化・他文化を尊重できている。 以上の観点を、定期考査を主な評価材料としながら、小テストや授業態度、提出物、出欠状況等を加味して総合的に評価する。
---------------	---

日常の 学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業前と授業後の予習復習で教科書を読む。その際、太字だけを暗記するのではなく、教科書を欄外まで含めて、歴史の流れを意識して丁寧に読み込む。 実施される小テストをおろそかにせず、きちんと自分で復習をする。 受験する生徒は、授業を大切にし授業中に歴史の流れを理解する。
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	<ul style="list-style-type: none"> 社会事象について興味関心を抱くために、日常から新聞やニュースなどを見る習慣をつける。 世界史や地理、倫理など他の地理歴史・公民科の勉強との関連を意識する。
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	数学Ⅱ	年次	2年次	区分	必修	担当者名	
		数学	講座名	数学Ⅱ	単位数	3単位	形態	クラス単位	教科書	東京書籍 数学Ⅱ Advanced
目標 (学習を通して身につける学力)		図形と方程式、三角関数、指数・対数関数、微分法・積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。							副教材	「サクシード 数学Ⅱ+B」(数研出版) 参考書「NEW ACTION LEGEND 数学Ⅱ+B」(東京書籍) 入試必修問題集「練磨」数学Ⅱ AB(啓林館) 項目別学習ノート「関数、極限」(数研出版)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	図形と方程式と直線	点 三角関数 加法定理 三角関数の合成 指数の拡張 指数関数	対数とその性質 対数関数 常用対数 微分係数 導関数 導関数の応用 接線	最大値・最小値 関数のグラフ 定積分 定積分 面積	不 関数の極限 数学Ⅱの演習問題
指導項目	高次方程式の解法、2点間の距離、線分の内分・外分、直線の方程式、円の方程式、円と直線、2つの円の関係、軌跡と方程式、不等式の表す領域	三角関数、加法定理、加法定理の応用、和と積の公式、三角関数の合成、指数法則の拡張、負の数のn乗根、指数関数とグラフ	対数の性質、対数関数とグラフ、常用対数、導関数の応用、接線	関数の値の変化、最大値・最小値、関数のグラフと方程式、不定積分、定積分の応用、面積の応用、数学Ⅱの演習	関数、関数の極限、数学Ⅱの総復習
補講講習	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
4月8日	5月24日	6月30日	夏期休業期間講習実施	8月27日	10月18日	12月1日	冬期休業期間講習実施	1月11日	3月3日	
1年の復習	図形と方程式	加法定理 三角関数の合成		夏期休業中の課題	指数関数・対数関数	微分法・積分法		冬期休業中の課題	関数、極限、総復習	

評価の観点 評価方法	<p>①日々の授業、さらに、予習、復習、課題などに対して、具体的に取り組んでいるか</p> <p>②解を求めるための基礎的な知識を身につけているか</p> <p>③内容を正確に捉え、自分の考えを深めたり、発展させたりしながら、さらにそれを目的に応じて解答できるか、といった観点から評価する。</p> <p>定期考査(100点×5)、特別考査(50点×3)、小テスト、レポート等の提出物(25点×5+5点×3)等により評価する。</p>
---------------	---

日常の 学習方法	<p>①授業中 講義、演習を主として学習する。</p> <p>②家庭学習 (1)問題集ノートを中心に記述式のテストに対応できるよう、わかりやすい解答を作る。</p> <p>(2)長期休業中や週末課題などで参考書(NEW ACTION LEGEND 数学Ⅱ+B)の解答をノートにまとめる。</p> <p>(3)模試ノートを作成し、発展的・複合的な内容の演習に取り組む。</p>
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	<p>必修科目であり、3年次生で履修する「数学Ⅲ」に繋がる科目である。大学入学共通テスト出題内容の基本を学ぶ、という意味でも極めて重要な科目である。</p>
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	数学B	年次	2年次	区分	必修選択	担当者名	
	数学	講座名	数学B	単位数	3単位	形態	習熟度別	教科書	東京書籍 数学B Advanced
目標 (学習を通して身につける学力)	平面上のベクトル、空間のベクトル、数列について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。							副教材	「サクシード 数学Ⅱ+B」(数研出版) 参考書「NEW ACTION LEGEND 数学Ⅱ+B」(東京書籍 数学Ⅱ Advanced 補充資料 項目別学習ノート「関数、極限」(数研出版)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	平面上のベクトル ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積 ベクトルと平面図形	空間の座標 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 空間における図形	等差数列 等比数列 和の計算 階差数列	数学的帰納法 漸化式	数学Bの総復習 数列の極限
指導項目	ベクトルの演算、成分、内積、三角形の面積、位置ベクトル、ベクトルと図形、ベクトル方程式、点の存在範囲の図示	空間の座標、空間のベクトル、成分、内積、位置ベクトル、ベクトルと図形、空間における図形、ベクトル方程式	等差数列とその和、等比数列とその和、和の計算 Σ 、階差数列、いろいろな数列の和	数学的帰納法、漸化式と数列、いろいろな漸化式	数学Bの総復習、数列の極限
補講講習	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応	課題状況不良者補習 質問対応

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
4月8日	5月24日	6月30日	夏期休業期間講習実施	8月27日	10月18日	12月1日	冬期休業期間講習実施	1月11日	3月3日	
1年の復習	平面ベクトル	空間ベクトル		夏期休業中の課題	数列	漸化式・数学的帰納法		冬期休業中の課題	総復習	

評価の観点 評価方法	<p>①日々の授業、さらに、予習、復習、課題などに対して、具体的に取り組んでいるか</p> <p>②解を求めるための基礎的な知識を身につけているか</p> <p>③内容を正確に捉え、自分の考えを深めたり、発展させたりしながら、さらにそれを目的に応じて解答できるか、といった観点から評価する。</p> <p>定期考査(100点×5)、特別考査(50点×3)、小テスト、レポート等の提出物(25点×5+5点×3)等により評価する。</p>
---------------	---

日常の 学習方法	<p>①授業中 講義、演習を主として学習する。</p> <p>②家庭学習 (1)問題集ノートを中心に記述式のテストに対応できるよう、わかりやすい解答を作る。</p> <p>(2)長期休業中や週末課題などで参考書(NEW ACTION LEGEND 数学Ⅱ+B)の解答をノートにまとめる。</p> <p>(3)模試ノートを作成し、発展的・複合的な内容の演習に取り組む。</p>
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	<p>必修科目であり、3年次生で履修する「数学Ⅲ」につながる科目である。大学入学共通テスト出題内容の基本を学ぶ、という意味でも極めて重要な科目である。</p>
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	物理基礎	年次	2年次	区分	必履修	担当者名	
	理科	講座名	物理基礎	単位数	3単位	形態	クラス単位	教科書	改訂版 物理基礎(数研出版)
目標 (学習を通して身につける学力)	自然界の現象や身の回りの道具などの仕組みや原理について考える姿勢と知識を養う。							副教材	セミナー物理+物理基礎(第一学習社) 物理基礎副読本(啓林館)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	<input type="checkbox"/> 運動の表し方 速度・加速度 落体の運動 <input type="checkbox"/> 運動の法則 力とのはたらき 力のつりあい 運動の法則 摩擦を受ける運動	<input type="checkbox"/> 仕事と力学的エネルギー 仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギーの保存	<input type="checkbox"/> 熱と物質 熱と熱量 熱と物質の状態 熱と仕事 <input type="checkbox"/> 波の性質 波と媒質の運動 波の伝わり方	<input type="checkbox"/> 音 音の性質 発音体の振動と共振・共鳴 音のドップラー効果	<input type="checkbox"/> 光 光の性質 レンズ 光の干渉と回折
指導項目					
補講 講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
			成績不振者向け課題				成績不振者向け課題			

評価の観点 評価方法	<input type="checkbox"/> 定期考査や課題提出・小テストなどで総合的に判断する。
---------------	---

日常の 学習方法	<input type="checkbox"/> 基礎事項(理論)の定着をプリントや演習問題などを通して図る。 <input type="checkbox"/> 実験(思考実験)や観察を通して身の回りの事象に興味・関心を持つ。
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	<input type="checkbox"/> 必修科目
----------------------------	-------------------------------

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	生物基礎	年次	2年次	区分	必修	担当者名	
	理科	講座名	生物基礎	単位数	3単位	形態	クラス単位	教科書	生物基礎改訂版(啓林館)
目標 (学習を通して身につける学力)	1. 生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。 2. 生物や生物現象について、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てる。							副教材	九訂版スクエア最新図説生物NEO(第一学習社) 六訂版リードα 生物基礎+生物(数研出版)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生物にみられる共通性 生物の共通性としての細胞 エネルギーと代謝 代謝を進める酵素 生体内におけるエネルギー変換 ミトコンドリアと葉緑体の起源 	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝情報とDNA DNAの構造 ゲノムと遺伝情報 細胞分裂とDNA 細胞周期とDNAの複製 遺伝情報の流れ(セントラルドグマ) 転写と翻訳 遺伝子の発現と生命現象 	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境 心臓と血液の循環 体内環境を調節する器官 自律神経系 内分泌系 	<ul style="list-style-type: none"> 自律神経系と内分泌系による共同調節 生体防御 免疫 免疫とヒト 	<ul style="list-style-type: none"> 植生とその環境 植生の遷移 バイオーム 生態系とエネルギーの流れ 生態系での物質循環 生態系とバランスと保全 生物多様性の保全
指導項目	<ul style="list-style-type: none"> 生物の特徴の理解 (実験に関しては実施できる場合に指導) 	<ul style="list-style-type: none"> 生物と遺伝子についての理解 遺伝情報の発現についての理解 (実験に関しては実施できる場合に指導) 	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境についての理解 体内環境の維持についての理解 (実験に関しては実施できる場合に指導) 	<ul style="list-style-type: none"> 免疫についての理解 応用的な範囲も扱う (実験に関しては実施できる場合に指導) 	<ul style="list-style-type: none"> 植生についての理解 バイオームについての理解 生態系の保全についての理解 (実験に関しては実施できる場合に指導)
補講講習	成績不良者補習(予定)	指名生徒対象補習(予定)	指名生徒対象補習(予定)	指名生徒対象補習(予定)	指名生徒対象補習(予定)

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲
		成績不振者に向けた課題を課す場合がある			成績不振者に向けた課題を課す場合がある		

評価の観点 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査5回(100点満点×5) 提出課題(提出状況・内容) 出席状況 授業態度(取り組み状況)など
---------------	---

日常の 学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ①授業内での学習 ②課題に応じた予習・復習
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	大学入試に向けた基礎学力の向上
----------------------------	-----------------

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	体育	年次	2年次	区分	必修	担当者名		
		保健体育	講座名	体育	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)	
目標 (学習を通して身につける学力)		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。								副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	体育理論 体づくり運動 球技【ゴール型:ラグビー(男子)】 球技【ネット型:テニス】 球技【ゴール型:サッカー(女子)】 球技【ネット型:バドミントン(女子)】 武道【柔道(男子)】 体育理論では「する、みる、支える、知る」といった豊かなスポーツライフを主体的に実践できるようにする。 体づくり運動では目的に適した運動の計画を立て取り組む。 球技ではゴール型、ネット型それぞれにおいて共通する動きを身につける。 武道では柔道において簡易な試合で攻防を展開することができるようにする。	体育理論 体力テスト 体づくり運動 水泳【バタフライ、背泳ぎ】 体育理論では、「する、みる、支える、知る」といった豊かなスポーツライフを主体的に実践できるようにする。 体づくり運動では目的に適した運動の計画を立て取り組む。 水泳ではバタフライ及び背泳ぎの身体の使い方、呼吸のタイミングなどを保ち、速く泳ぐことができるように効率的に泳法を身に付ける。	体育理論 体づくり運動 球技【ベースボール型:ソフトボール(男子)】 球技【ネット型:テニス】 球技【ネット型:バドミントン(女子)】 球技【ネット型:ハレーボール(女子)】 武道【柔道(男子)】 水泳【バタフライ、背泳ぎ】 体育理論では、「する、みる、支える、知る」といった豊かなスポーツライフを主体的に実践できるようにする。 体づくり運動では目的に適した運動の計画を立て取り組む。 球技ではベースボール型・ネット型それぞれにおいて共通する動きを身につける。 柔道では簡易な試合で攻防を展開することができるようにする。 水泳ではバタフライ及び背泳ぎの身体の使い方、呼吸のタイミングなどを保ち、速く泳ぐことができるように効率的に泳法を身に付ける。	体育理論 体づくり運動 球技【ベースボール型:ソフトボール(男子)】 球技【ネット型:テニス】 球技【ネット型:テニス(女子)】 球技【ネット型:ハレーボール(ハレーボール)】 武道【柔道(男子)】 陸上競技【長距離走】 体育理論では、「する、みる、支える、知る」といった豊かなスポーツライフを主体的に実践できるようにする。 体づくり運動では目的に適した運動の計画を立て取り組む。 球技ではゴール型・ネット型に共通する動きを身につける。 柔道では簡易な試合で攻防を展開することができるようにする。 陸上競技では自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競争したりできるようにする。	体育理論 陸上競技【長距離走】 体づくり運動【なわ跳び】 陸上競技では自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競争したりできるようにする。 体づくり運動では目的に適した運動の計画を立て取り組む。 また、体力を高める運動として、なわ跳び運動に取り組む。短なわを用いて、巧みな動きと動きを継続する能力を養う。
指導項目	オリエンテーションにおいて資料・説明で学習の流れを知り、学び方・技能の実態・習得方法など、グループで計画できるようにする。基本技能を習得し、自分の動き、仲間の動きに対して教え合いながら学習できるようにする。	水泳の特性を理解し、安全面に関する注意事項を理解する。自己の目標を設定することで、課題解決のための工夫を行い意欲的に取り組み成果を上げる。遠泳に適した泳ぎを身につける。	種目の特性を理解し、安全面に対する注意事項を理解する。学習の流れを知り、学び方・技能の実態・習得方法などグループ学習を通して、自分の動き・仲間の動きに対して教え合い、話し合いができるようにする。習得した技能を活かし、試合に応用する。また、試合を企画運営できるようにする。	2学期前半の項目に加え、長距離走におけるコンディショニングの重要性を理解し実施する。効率的で、体に負担のかからないフォームを身につけて実施する。トレーニング効果があるかを理解し日常生活に応用できるようにする。	目標タイムを設定するなど目標を持って走りることができるようにする。効率的で体に負担のかからないフォームを理解して実施。 仲間と教え合いながら技の習得を目指し、本校で長期的に取り組んでいる、なわ跳び検定に取り組む。単独技から連続技、自由跳躍へと技能を高めていけるようにする。
補講講習	計測・スキルテスト	実技試験	計測・スキルテスト	計測	検定

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	知識・技能 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な知識や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための科学的知識及び目的に応じた技能を身に付けている。 思考・判断・表現 生涯にわたる豊かなスポーツライフの継続を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを表現するとともに、健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 主体的に学習に取り組む態度 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 * 授業担当者が観察や技能テスト等により、総合的に評価。
---------------	--

日常の 学習方法	教員の指導のもと、技能や個人やチームで考えたことなどを学習ノート等に記録し、振り返りを行うことで進歩の状況を確認しながら単元を進める。また、自分や仲間の課題を発見し、課題解決の課程を踏まえて思考し判断したことを、根拠を示したり他者に配慮したりしながら、言葉や文章及び動作などで表したり、他者にわかりやすく伝えたりする。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	①動きやすい服装、体育にふさわしい服装をしておくこと。 ②ピアス、ネックレス、指輪などの装飾品は外しておくこと。 ③爪が伸びている者は切っておくこと。 ④頭髪については、髪が邪魔にならないように結ぶ、束ねるなど配慮すること。 ⑤体調管理を各自すること(睡眠、水分補給、運動への順化等)。 ⑥人数把握のため合図があったら速やかに整列すること。 ⑦集合したら話を聞く姿勢をつくること。時間を守る。
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	保健	年次	2年次	区分	必履修	担当者名	
		保健体育	講座名	保健	単位数	1単位	形態	クラス単位	教科書	現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)
目標 (学習を通して身につける学力)		保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。							副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	1-22 応急手当の意義とその基本 1-23 心肺蘇生法 2- 1 思春期と健康 2- 2 性意識と性行動の選択	2- 3 結婚生活と健康 2- 4 妊娠・出産と健康 2- 5 家族計画と人工妊娠中絶 2- 6 加齢と健康 2- 7 高齢者のための社会的取組	3- 1 大気汚染と健康 3- 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3- 3 健康被害の防止と環境対策 3- 4 環境衛生活動のしくみと働き 3- 5 食品衛生活動のしくみと働き 3- 6 食品と環境の保健と私たち 3- 7 働くことと健康 3- 8 労働災害と健康 3- 9 健康的な職業生活	3- 1 大気汚染と健康 3- 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3- 3 健康被害の防止と環境対策 3- 4 環境衛生活動のしくみと働き 3- 5 食品衛生活動のしくみと働き 3- 6 食品と環境の保健と私たち 3- 7 働くことと健康 3- 8 労働災害と健康 3- 9 健康的な職業生活	2- 8 保健制度とその活用 2- 9 医療制度とその活用 2-10 医薬品と健康 2-11 さまざまな保健活動や対策
指導項目	安全な社会生活及び生涯を通じる健康について理解を深めること。応急手当を適切にすること。 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。	生涯を通じる健康について理解を深めること。応急手当を適切にすること。 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。	健康を支える環境づくりについて理解を深めること。 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。	健康を支える環境づくりについて理解を深めること。 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。	生涯を通じる健康及び健康を支える環境づくりについて理解を深めること。 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。
補講講習	課題状況等不良者補習	課題状況等不良者補習	課題状況等不良者補習	課題状況等不良者補習	課題状況等不良者補習

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	知識・技能 個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けている。 思考・判断・表現 個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して、総合的に考え、判断し、それらを表現している。 主体的に学習に取り組む態度 健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組もうとしている。 * 授業担当者が小テスト等により、総合的に評価。
---------------	---

日常の 学習方法	授業で得た知識・情報を自身の生活と照らし合わせて、健康課題の改善点を見つける。仲間の意見を聞き、自分自身と比較しながら意見交換が行えるように考え学習する。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	健康に関する興味や課題解決への意欲を高め、知識を活用する学習活動を重視する。
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	音楽Ⅱ	年次	2・3年次	区分	自由選択	担当者名	
	芸術	講座名	音楽Ⅱ	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	改訂版ON2 (音楽之友社)
目標 (学習を通して身につける学力)	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す							副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	歌唱;コールユブングン、コンコーネ、 日本のうた、イタリア歌曲、ドイツリート、重唱 器楽;ギター、キーボード コードネーム	歌唱;コールユブングン、コンコーネ、 イタリア歌曲、ドイツリート、重唱 器楽;ギター、キーボード コードネーム	歌唱;ポピュラー曲、重唱 器楽;ギター、キーボード、 少人数によるアンサンブル コードネーム 簡単な編曲 創作	歌唱;ポピュラー曲、重唱 器楽;ギター、キーボード、 少人数によるアンサンブル コードネーム 簡単な編曲 創作	歌唱;自由曲、重唱 器楽;ギター、キーボード、 少人数によるアンサンブル スコアリーディング 簡単な編曲 創作
指導項目	正しい姿勢、発声、豊かな音量、 正しい音程、正しいリズム、 美しいハーモニー	正しい姿勢、発声、豊かな音量、 正しい音程、正しいリズム、 美しいハーモニー	正しい姿勢、発声、豊かな音量、 正しい音程、正しいリズム、 美しいハーモニー	正しい姿勢、発声、豊かな音量、 正しい音程、正しいリズム、 美しいハーモニー、豊かな響き、 表情豊かな表現	正しい姿勢、発声、豊かな音量、 正しい音程、正しいリズム、 美しいハーモニー、豊かな響き、 表情豊かな表現
補講 講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・活動の様子 ・提出物 ・諸課題
---------------	--

日常の 学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技を中心とした学習 ・独唱・二重唱・三重唱 ・独奏・グループ合奏 ・簡単な編曲 ・創作
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	音楽1を履修していることを条件とする。音楽系進学者は音楽Ⅲ及び発展科目「音楽基礎実習」を履修できる
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	美術Ⅱ	年次	2・3年次	区分	自由選択	担当者名	
	芸術	講座名	美術Ⅱ	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	美術2(光村)
目標 (学習を通して身につける学力)	美術の多様な創造活動を通して、幅広く文化を尊重する態度を養い、新たな文化の創造の担い手の育成を目指す。							副教材	なし

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	ボールペン画 「心象風景を紡ぐ」	ボールペン画 「心象風景を紡ぐ」	抽象木彫 「スーパーエッグを作る」	水彩画 「思い出を絵にする」	水彩画 「思い出を絵にする」
指導項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールペンによる表現を理解する。 ・コンセプト・イメージを持ち画面構成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールペンによる表現を理解する。 ・コンセプト・イメージを持ち画面構成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素材の質感を生かした表現を試みる。 ・正確な道具の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・水彩による空間表現を学ぶ。 ・制作の手順を理解し、計画を立てる。 ・全体のバランスを見ながら、着彩を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水彩による空間表現を学ぶ。 ・制作の手順を理解し、計画を立てる。 ・全体のバランスを見ながら、着彩を進める。
補講講習	授業内に作品未完成なものに対して行う。	授業内に作品未完成なものに対して行う。	授業内に作品未完成なものに対して行う。	授業内に作品未完成なものに対して行う。	授業内に作品未完成なものに対して行う。

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏休休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬休休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	<p>【提出作品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作に対する関心・意欲 ・対象を把握しようとする姿勢をもち的確な表現ができていますか ・画面の構成や立体感・質感の理解・表現が的確にできていますか ・制作するものへの理解をもち、豊かな発想力で効果的な表現ができるか <p>主として授業作品を、単元の目標に照らし合わせて評価する。出席状況、授業態度等を参考にします。</p>
---------------	--

日常の 学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「描く」「表す」「作る」ことの意義を考え、手法を身につける ・自己の表現を追求するとともに、他者の表現に目を向けそれを尊重すること ・高度な表現力を身につけるために、各自努力すること
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	美術Ⅰにおいては、平面の表現を中心に制作を行う。 美術Ⅰで学んだ内容を基礎として、美術Ⅱでは、応用的な平面の表現や立体表現の基礎を学習する。
----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	年次	2年次	区分	必修	担当者名	
		外国語	講座名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4単位	形態	クラス単位	教科書	ELEMENT English Communication II(啓林館)
目標 (学習を通して身につける学力)		1.4技能を総合的に使いこなせるようにする。 2.辞書、参考書を使いこなし、まとまった英文を自分の力で読解する能力を高める。 3.正しい発音を習得し、語彙を増やし、英語を聞き取って情報や話し手の意向を理解できる力、又、自分の考えや伝えたいことを英語で話したり書いたりして表現できる力を養う。 4.言語活動の土台となる文法事項を正しく理解し使いこなせるようにする。							副教材	・CROWN PLUS Level 3 (三省堂) ・Cutting Edge Blue (エミル出版) ・キクタンリーディング Basic 4000 / Advanced 6000 (アルク) ・英語の発音ノート(教研出版)・Reading Express Book3 (Z会) ・Get Ahead Student Book 3(Oxford) ・Focus on Listening Pre-Advanced(エミル出版) ・Welcome to Tokyo(東京都独自教材)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >	
授業内容	【読解】 ELEMENT Lesson 2 Stay Hungry, Stay Foolish Cutting Edge 2020 Green Chapter 18 心理「幸福感」 Cutting Edge Blue Chapter 2 物語「最後のメッセージ」 Chapter 3 自科「目の大きさと脳の関係」 CROWN PLUS 3 Lesson 5 The Magic of Moving Pictures 【速読】 Reading Express Book 3 1～5 【Speaking】 Get Ahead Book 3 英語の発音ノート 授業内活動 【単語】 キクタンリーディングBasic4000 Week 1～6 【リスニング】 Focus on Listening Pre-Advanced Training 1～4 【外部検定試験対策】 問題演習	【読解】 ELEMENT Lesson 3 A Teenager To Change the World Cutting Edge Blue Chapter 1 人文「教育と疾病」 Chapter 7 人文「国際語としての英語」 Chapter 8 自科「睡眠の役割」 CROWN PLUS 3 Lesson 9 Whose Idea? 【速読】 Reading Express Book 3 6～9 【Speaking】 Get Ahead Book 3 英語の発音ノート 授業内活動 【単語】 キクタンリーディングBasic4000 Week 6～12 【リスニング】 Focus on Listening Pre-Advanced Training 5～7 【外部検定試験対策】 問題演習	【読解】 ELEMENT Lesson 4 Life in a Jar Cutting Edge Blue Chapter 5 人文「貴重な教訓」 Chapter 13 自科「行動の背景」 Chapter 17 自科「ハビタブルゾーン」 CROWN PLUS 3 Lesson 10 A Stormy Life 【速読】 Reading Express Book 10～14 【Speaking】 Get Ahead Book 3 英語の発音ノート 授業内活動 【単語】 キクタンリーディングAdvanced6000 Week 3～5 【リスニング】 Focus on Listening Pre-Advanced Training 8～11 【外部検定試験対策】 問題演習	【読解】 ELEMENT Lesson 5 Space Debris Cutting Edge Blue Chapter 9 人文「口論と真実」 Chapter 11 自科「自動運転車」 Chapter 14 自科「災害と温暖化」 CROWN PLUS 3 Lesson 11 The Statement of Henry Jekyll 【速読】 Reading Express Book 3 15～18 【Speaking】 Get Ahead Book 3 英語の発音ノート 授業内活動 【単語】 キクタンリーディングAdvanced6000 Week 6～8 【リスニング】 Focus on Listening Pre-Advanced Training 12～14	【読解】 ELEMENT Lesson 7 iPS Cells Lesson 9 The Vancouver Asahi Cutting Edge Blue Chapter 12 自科「AIと仕事」 Chapter 16 人文「『事実』なるもの」 Chapter 18 人文「確認バイアス」 CROWN PLUS 3 Lesson 12 City of the Volcano・Pompeii 【速読】 Reading Express Book 3 19～25 【Speaking】 Get Ahead Book 3 英語の発音ノート 授業内活動 【単語】 キクタンリーディングAdvanced6000 Week 10～12 【リスニング】 Focus on Listening Pre-Advanced Training 15～20	
指導項目	単語・文法 長文読解・リスニング	単語・文法 長文読解・リスニング	単語・文法 長文読解・リスニング	単語・文法 長文読解・リスニング	単語・文法 長文読解・リスニング	
補講講習	発展講習・課題状況不良者講習	発展講習・課題状況不良者講習	発展講習・課題状況不良者講習	発展講習・課題状況不良者講習	発展講習・課題状況不良者講習	

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
4月8日	7月7日	夏期休業期間中課題	8月27日	9月13日	11月10日	冬期休業期間中課題	1月11日	2月2日	3月9日・10日
別紙にて指示	単語・文法 長文読解・リスニング		別紙にて指示	「GTEC」 単語・文法 長文読解・リスニング スピーキング	単語・文法 長文読解・リスニング		別紙にて指示	単語・文法 長文読解・リスニング	単語・文法 長文読解・リスニング

評価の観点 評価方法	定期考査や宿題テスト、小テストに加えて、週末課題などの提出物、予習状況や授業中の姿勢やノートの作成、プレゼンテストなどの実技テストなどさまざまな観点から総合的に判断する。	日常の 学習方法	※別紙参照。授業担当者の指示に従うこと。	履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	英文の概要を把握するような読解ストラテジーを身に付けるよう予習や課題に取り組むこと。理解した英文は活用できるように音読トレーニングやパターンプラクティスを行うこと。 一方で、難解な英文を正確に理解したり、詳細な情報を英文から得たりするために必要な文法や文構造の知識を身に付けるようにすること。必ず音声を活用して4技能が総合的に伸びるよう学習すること。 外部試験GTECに向け夏期休業中全員対象の課題を課す。日々の授業が基礎力、応用力を養い外部試験に功を奏するものであると自覚し学習に積極的に取り組むこと。 これらの目標を達成できるよう能動的に授業に参加すること。
---------------	---	-------------	----------------------	----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画		教科名	科目名	英語表現Ⅱ	年次	2年次	区分	必履修	担当者名	
		外国語	講座名	英語表現Ⅱ	単位数	2単位	形態	クラス単位	教科書	POLESTAR English Expression Ⅱ (数研出版)
目標 (学習を通して身につける学力)		1. 幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で書いたり話したりして伝える能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 2. 論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を書く力をつける。 3. 基本的な文法事項を押さえながら、問題演習を繰り返し、応用力の養成を目指す。							副教材	・Steady Steps to English Writing(数研出版) ・入試必携英作文 Write to the Point 三訂版(数研出版) ・REPS 英文法・語法・問題集(エミル出版) ・英文法・語法 Vintage New Edition (いっずな書店) ・ブレイクスルー総合英語(美誠社) ・必携英語表現集(数研)

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >	
授業内容	【英作文】 Steady Steps to English Writing 1 時制(1) 2 時制(2) 3 時制(3) Polestar English Expression Ⅱ PART 1 文法を総復習しよう Lesson 1 ~ Lesson 3 PART 3 パラグラフの構成を学ぼう Lesson 1 【文法・語法・表現】 ブレイクスルー英文法36章 Lesson 35~36 語法 REPS 英文法語法問題集 1,2 動詞の語法 3 時制 Vintage ①時制・受動態 1~39 ②助動詞 40~79 ③仮定法 80~113 ④不定詞 114~154 ⑤動名詞・分詞 155~204 必携英語表現集 ①L13,14 ②L15,16	【英作文】 Steady Steps to English Writing 8 態 9 不定詞・動名詞(1) 10 不定詞・動名詞(2) Polestar English Expression Ⅱ PART 1 文法を総復習しよう Lesson 4,6,7 PART 3 パラグラフの構成を学ぼう Lesson 2 【文法・語法・表現】 REPS 英文法語法問題集 4 態 7 不定詞 8 動名詞 9 分詞 Vintage ①関係詞 205~259 ②接続詞 260~321 ③前置詞 322~373 ④会話表現① 1308~1357 必携英語表現集 ①L17,18 ②L19,20	【英作文】 Steady Steps to English Writing 4 助動詞(1) 5 助動詞(2) 6 条件・仮定(1) 7 条件・仮定(2) Polestar English Expression Ⅱ PART 2 トピック別表現 Lesson 1 ~ Lesson 3 PART 3 パラグラフの構成を学ぼう Lesson 3 【文法・語法・表現】 REPS 英文法語法問題集 5 助動詞 6 仮定法 12 形容詞の語法 13 副詞の語法 18 前置詞・群前置詞 Vintage ①比較 374~430 ②SとVの一致、疑問文 431~474 ③否定、語順・省略・強調、語法 475~525 ④動詞の語法① 526~576 ⑤会話表現② 1358~1406 必携英語表現集 ①L27,28 ②L29,30	【英作文】 Steady Steps to English Writing 11 分詞 12 関係詞(1) 13 関係詞(2) Polestar English Expression Ⅱ PART 2 トピック別表現 Lesson 4 ~ Lesson 6 PART 3 パラグラフの構成を学ぼう Lesson 4 【文法・語法・表現】 REPS 英文法語法問題集 16 関係詞 17 接続詞 19 名詞 20 代名詞 Vintage ①動詞の語法② 577~622 ②動詞の語法③ 623~671 ③名詞の語法 672~704 ④代名詞の語法 705~762 ⑤重要多義語 1498~1525 必携英語表現集 ①L31,32	【英作文】 Steady Steps to English Writing 14 比較 15 否定 入試必携英作文 Write to the Point Lesson 1 主語の決定(1) ~ 4 Polestar English Expression Ⅱ PART 2 トピック別表現 Lesson 7 ~ 10 PART 3 パラグラフの構成を学ぼう Lesson 5 【文法・語法・表現】 REPS 英文法語法問題集 14 比較 22 否定・疑問 23 省略・強調・語順 24 一致 Vintage ①形容詞の語法 763~812 ②副詞の語法 813~847 ③群前置詞1269~1307 ④語彙問題 1407~1497 ⑤重要多義語 1498~1525 必携英語表現集 ①L37,38 ②L39,40	
指導項目	①英語の骨組みとなる語順と骨組みを膨らませていく方法。 ②日本語と英語の相違点 ③文型や表現の型を駆使して、英語で表現する方法。 ④範囲の文法事項の確認、応用。 ⑤パラグラフ・ライティングの取り組み方	①英語の骨組みとなる語順と骨組みを膨らませていく方法。 ②日本語と英語の相違点 ③文型や表現の型を駆使して、英語で表現する方法。 ④範囲の文法事項の確認、応用。 ⑤パラグラフ・ライティングの取り組み方	①英語の骨組みとなる語順と骨組みを膨らませていく方法。 ②日本語と英語の相違点 ③文型や表現の型を駆使して、英語で表現する方法。 ④範囲の文法事項の確認、応用。 ⑤パラグラフ・ライティングの取り組み方	①英語の骨組みとなる語順と骨組みを膨らませていく方法。 ②日本語と英語の相違点 ③文型や表現の型を駆使して、英語で表現する方法。 ④範囲の文法事項の確認、応用。 ⑤パラグラフ・ライティングの取り組み方	①英語の骨組みとなる語順と骨組みを膨らませていく方法。 ②日本語と英語の相違点 ③文型や表現の型を駆使して、英語で表現する方法。 ④範囲の文法事項の確認、応用。 ⑤パラグラフ・ライティングの取り組み方	
補講講習	発展講習・課題状況不良者講習	発展講習・課題状況不良者講習	発展講習・課題状況不良者講習	発展講習・課題状況不良者講習	発展講習・課題状況不良者講習	

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
4月8日	7月7日	夏期休業期間中課題	8月27日	9月13日	冬期休業期間中課題	1月11日	2月2日	3月9日・10日
別紙にて指示	単語・文法 長文読解・リスニング		別紙にて指示	「GTEC」 単語・文法 長文読解・リスニング スピーキング		単語・文法 長文読解・リスニング	別紙にて指示	単語・文法 長文読解・リスニング

評価の観点 評価方法	定期考査や宿題テスト、小テストに加えて、週末課題などの提出物、予習状況や授業中の姿勢やノートの作成などさまざまな観点から総合的に判断する。	日常の 学習方法	※別紙参照。授業担当者の指示に従うこと。	履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	基本的構文を理解し、書くことを通して、正しい文を書く力を養うと同時に、熟語・構文を駆使して英語の表現力をつける。また、国立大学2次試験の長文英作文、一部私大の自由英作文に対応できるように、基礎力の充実を計る。これらの目標を達成できるような能動的に授業に参加すること。
---------------	---	-------------	----------------------	----------------------------	---

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	英会話	年次	1・2年次	区分	自由選択	担当者名	
	外国語	講座名	英会話	単位数	2単位	形態	少人数	教科書	POLESTAR English Expression 1 (数研出版)
目標 (学習を通して身につける学力)	日常の身近な話題について「英語で」読む、聞く、話す、書く能力を伸ばし、英語をコミュニケーションの道具として使いこなし、積極的に自己の考えを英語で表現する力を養うことを目標とする。							副教材	News Tapes, TEDTALKS Keynote 1

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●授業オリエンテーション ●自己紹介 ●1)『NewsTapes(時事問題を扱った音源)』の聞き取りと、その内容に関する質疑応答、ならびに各自の口頭要旨要約を通しての内容理解 2)TEDTALKS Keynote 1を用いて、授業ごとに1つのテーマについて、TEDTALKSを聴いて内容理解/語彙の習得/テキストやJET教員からの質問に対して英語で考えをまとめて生徒間で共有、などを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●過去の思い出や将来の抱負を伝え合う ●基本動詞を用いた会話練習 ●英語ゲーム ●1)『NewsTapes(時事問題を扱った音源)』の聞き取りと、その内容に関する質疑応答、ならびに各自の口頭要旨要約を通しての内容理解 2)TEDTALKS Keynote 1を用いて、授業ごとに1つのテーマについて、TEDTALKSを聴いて内容理解/語彙の習得/テキストやJET教員からの質問に対して英語で考えをまとめて生徒間で共有、などを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●夏休みの経験を伝え合う ●1)NewsTapes(時事問題を扱ったテープ)の聞き取りと、その内容に関する質疑応答、ならびに各自の口頭要旨要約を通しての内容理解 2)短いストーリー(Strange but True Stories)の要旨要約と、News TapesのDictationを内容とするListening Testの実施(Written Test)※1)、2)については年間を通して実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●show and tell(伝えたいテーマを決め、それに関する物を見せながら発表する) ●1)『NewsTapes(時事問題を扱った音源)』の聞き取りと、その内容に関する質疑応答、ならびに各自の口頭要旨要約を通しての内容理解 2)TEDTALKS Keynote 1を用いて、授業ごとに1つのテーマについて、TEDTALKSを聴いて内容理解/語彙の習得/テキストやJET教員からの質問に対して英語で考えをまとめて生徒間で共有、などを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●冬休みの経験を伝え合う ●presentation(伝えたいテーマを決め、それを発表する。また聞いている生徒は積極的に質問をする) ●1)『NewsTapes(時事問題を扱った音源)』の聞き取りと、その内容に関する質疑応答、ならびに各自の口頭要旨要約を通しての内容理解 2)TEDTALKS Keynote 1を用いて、授業ごとに1つのテーマについて、TEDTALKSを聴いて内容理解/語彙の習得/テキストやJET教員からの質問に対して英語で考えをまとめて生徒間で共有、などを実施
指導項目	<ul style="list-style-type: none"> ●英語で読む、聞く、話す、書く能力を養う ●英語を用いてコミュニケーションを取ろうという態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語で読む、聞く、話す、書く能力を養う ●英語を用いてコミュニケーションを取ろうという態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語で読む、聞く、話す、書く能力を養う ●英語を用いてコミュニケーションを取ろうという態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語で読む、聞く、話す、書く能力を養う ●英語を用いてコミュニケーションを取ろうという態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語で読む、聞く、話す、書く能力を養う ●英語を用いてコミュニケーションを取ろうという態度を養う
補講講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲	夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲	冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲

評価の観点 評価方法	授業によっては毎時間リスニングテスト(ショートストーリーの英語要約・その日に扱った英文のディクテーション)を実施しますが、出席状況や、授業参加態度も重視されます。1回休むと2時間の欠けがつくので注意してください。
---------------	--

日常の 学習方法	外国人指導員の先生と日本人の先生とのティームティーチングによる2種類の授業が1週間おきにあり、様々な教材を通して総合的に「読む・聞く・話す・書く」力をつけていきます。
-------------	---

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	いわゆる「実技」的な要素を多く持つ科目です。積極的に授業に参加し、間違いを恐れず、大きな声で英語を話してください。また、単に英語がうまく話せても、中身のない空虚なコミュニケーションとならないよう、常に話したい内容(つまり様々な物事に対する自分の「意見」)をしっかり持つことが大切です。
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	フランス語	年次	1・2年次	区分	自由選択	担当者名	
	外国語	講座名	フランス語	単位数	2単位	形態	少人数	教科書	Dialogues(第三書房)
目標 (学習を通して身につける学力)	初歩的なフランス語でコミュニケーションを図ることができる。 フランスおよびフランス語圏の国や地域の文化や社会についての理解を深める。							副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	第1課 文字・発音 第2課 挨拶 第3課 自己紹介	第4課 人称代名詞、属詞構文 第5課 形容詞、動詞	第6課 数詞、冠詞 第7課 助動詞	第8課 疑問詞 第9課 依頼表現	第10課 家族名称 第11課 誘う表現
指導項目	フランス語の文字および発音のルールを理解する 挨拶、自己紹介ができる	動詞、形容詞を使って簡単な文章が作れる	日常場面での会話ができる	質疑応答ができる	家族について話すことができる 会話のバリエーションを増やす
補講 講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
		1学期の学習内容				2学期の学習内容				一年間の学習内容

評価の観点 評価方法	授業参加率、宿題、テストをもとに総合的に評価する。
---------------	---------------------------

日常の 学習方法	授業での口頭練習に積極的に参加すること。 言語の背景にある文化にも広く関心を持つこと。
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	
----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	ハングル	年次	1・2年次	区分	自由選択	担当者名	
	外国語	講座名	ハングル	単位数	2単位	形態	少人数	教科書	『できる韓国語 #中・高生の基本編』(ASUKU出版)
目標 (学習を通して身につける学力)	ハングル(韓国朝鮮語)の基礎的な学習を通じて、自分のことを「言える」ようにし、簡単なやりとりができるようにする。 あわせて簡単な文章を読めるようにする:挨拶、買い物、自己紹介などの基礎的な会話。(必ずしも教科書の順番通り進めるとは限らない) 韓国朝鮮の生活や習慣を知ること、体験学習などを通じて、言葉の背景にある文化にも理解を深める。 また日本との違いや共通点を見つける。□ <input type="checkbox"/>							副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	ハングル入門 文字と発音 教科書1-4□ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	会話文基礎 教科書 1-2課□ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	韓国朝鮮の文化に触れる(文化クイズ、韓服) 教科書 3-5課	教科書 6-10課	韓国朝鮮の文化に触れる(ユンノリ) 教科書 10-12課
指導項目	ハングル(文字)のルール、挨拶、自己紹介	ハングル(文字)のルール、挨拶、自己紹介 文法の初歩を学ぶ	動詞・形容詞の活用(丁寧表現)を学ぶ	希望、過去形の活用を学ぶ 数詞、注文の仕方を学ぶ	丁寧な命令表現を学ぶ
補講 講習					

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	

評価の観点 評価方法	報告書(10点)+小テスト(20点)+定期試験(70点)=100点(評価)	日常の 学習方法	日々の授業を大切にし、授業で学んだことを必ず復習すること。	履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	
---------------	---------------------------------------	-------------	-------------------------------	----------------------------	--

令和3年度(2021年度) 授業計画	教科名	科目名	総合的な探究の時間	年次	2年次	区分	必修	担当者名	
	総合的な探究の時間	講座名	総合的な探究の時間	単位数	1単位	形態	クラス単位	教科書	
目標 (学習を通して身につける学力)	学校の目標である「生き方教育、自己の在り方、生き方を考え、主体的に進路を選択する教育を推進する」ことを踏まえ、キャリア教育をはじめ、進路研究、小論文指導を中心に、自己実現を可能にする力を養う。また、主権者教育を通して、積極的な社会参画を促す。							副教材	

	< 1学期前半 >	< 1学期後半 >	< 2学期前半 >	< 2学期後半 >	< 3学期 >
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> 遠足事前学習 観光甲子園の動画作成準備 1年次3月実施河合塾学び未来Passの振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 観光甲子園の動画作成準備 オープンキャンパスの参加計画作成 3年次選択科目についての進路学習 7月進研模試の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 3年次選択科目についての進路学習 観光甲子園の動画完成 修学旅行の計画作成 小論文ガイダンス①、模試① 大学分野別模擬講義受講 	<ul style="list-style-type: none"> 観光甲子園の動画応募 修学旅行の事前学習 11月進研模試の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 観光甲子園の結果の反省 共通テストチャレンジの振り返り 3年0学期を意識する集会 小論文ガイダンス②、模試② 河合塾全統記述模試の振り返り 河合塾全統共通テスト模試の振り返り
指導項目	<ul style="list-style-type: none"> 遠足及びその事前学習が観光甲子園の動画作成に生かせるように留意する。 				
補講講習	なし	なし	なし	なし	なし

特別考査(春) 実施予定日・範囲	1学期実力テスト 実施予定日・範囲		夏期休業期間	特別考査(夏) 実施予定日・範囲	2学期実力テスト 実施予定日・範囲		冬期休業期間	特別考査(冬) 実施予定日・範囲	3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
	7月7日(水)		別紙により指示 オープンキャンパス大学訪問		11月10日(水)		別紙により指示		2月2日(水)	3月9・10(水・木)
	進研模試				進研模試				河合塾 全統高2記述模試	河合塾 全統共通テスト 高2模試

評価の観点 評価方法	各学習における活動状況及び、提出されたワークシートをもとに総合的に判断し、評価する。
---------------	--

日常の 学習方法	総合的な探究の時間においては、1年次に引き続き、身近な地域に関して様々な活動を行う予定である。その目的を考えながら活動する。
-------------	--

履修上の注意 (発展的な 科目との関連)	必修科目である。
----------------------------	----------